きさらづ

市議会だより

令和８年11月１日

第178号



木更津の魅力　案内します

こちらのQRコードから市議会のホームページが閲覧できます。

木更津市議会　検索

発行／木更津市議会　編集／木更津市議会広報委員会
〒292-8501 木更津市富士見1-2-1 TEL.0438-23-7185

令和８年度一般会計補正予算……2
令和７年度決算の認定……3
議案審議……4
発議案・要望書の提出、陳情
熊本地震への災害義援金、委員会の行政視察…5
一般質問（代表）……6～8
一般質問（個人）、議員別表決結果一覧
12月定例会の日程 …… 8～11
Topics ～木更津みち案内人協会を取材～… 12

令和８年度一般会計補正予算
9月定例会後 一般会計予算 596億4,297万2千円
使い方をチェック！

令和８年度当初予算
計584億4,000万円

６月定例会
＋8億28万円
計592億4,028万円

９月定例会
＋4億269万2千円
計596億4,297万2千円

選挙執行事務費 85万3千円

基幹系業務システムの標準化移行作業に伴い、期日前投票で使用しているパソコン5台の買い替えを行うための経費です。

Q 使用していたパソコンはどうするのか。庁舎内で再利用することも考えているのか

A セキュリティ等の問題を考慮しながら、庁舎内での有効活用を検討するほか、リサイクル業者に引き取ってもらうなどの対応を予定している。

（県 42万6千円・市 42万7千円）

物価高騰対策未就学児応援手当支給事業費 3,900万円

物価高騰により子育て世帯の家計への影響が大きくなっていることを踏まえ、未就学児がいる家庭等を支援するため、未就学児1人当たり6,000円分のアクアポイントを支給するための経費です。

Q アクアポイントにする理由は

A 未就学児の保護者の主な層である20代・30代では、キャッシュレス決済の利用率が70％を超えており、対象世代にとって操作のハードルが低く、即時性・利便性に優れた支給手段として適しているため。

（国 3,900万円）

防犯灯維持補修費 124万7千円

市が管理している防犯灯の不具合に対応するための経費です。

Q 不点灯の原因は

A 年数の経過による不点灯と見込んでいる。

Q 自治会が管理している防犯灯の移管手続きは6月末が期限であったが、完了していない自治会への対応は

A 自治会の役員変更等により区域内の防犯灯を把握しきれていないとの相談があったため、随時受け付けている。

（市 124万7千円）

健康増進センター維持管理費 327万3千円

健康増進センター（いきいき館）の適切な維持管理を図るため、経年劣化した低圧ガス配管の塗装及び配管架台の交換等を行うための経費です。

Q 学校の授業で利用されているが、影響はないのか

A 休館日に工事を行うことで授業に支障がないようにする。

（市 327万3千円）

応急災害復旧事業費 1057万2千円

6月27日から28日の台風7号、8号により被災した道路、河川の災害復旧を行うための経費です。

Q 6月3日の台風で起きた土砂崩れの現状は

A すでに土砂の撤去が完了している。

Q どのようにして起こった土砂崩れなのか

A 河川の水位の上昇、下降が繰り返されたことにより起こったものである。

（地方債 460万円・市 597万2千円）

指定ごみ袋関係事業費 4,388万9千円

物価高騰や中東情勢の影響により原材料の確保が困難となっており、令和８年度当初予算計上額では1年間に必要とする数量を確保できていないことから、今年度に必要な数量を確保するとともに、令和９年度においても必要となる数量を確保するための経費です。

Q 当初、１年間分として見込んだ数量は、いつ頃不足すると考えたのか

A １２月頃までしか確保できないと見込み、今後、必要な数量を確保するため補正予算を計上した。

Q 現在の市内の販売店舗数は

A 199店舗である。

（一般廃棄物処理手数料 4,388万9千円）

令和７年度決算の認定

一般会計

歳入	622 億 866 万 8,177 円
歳出	581 億 5 万 5,782 円
差引額	41 億 861 万 2,395 円

差引額内訳

翌年度実施すべき事業分の繰越額
22 億 4,619 万 8,979 円
地方自治法に基づく基金繰入額
15 億 6,241 万 3,416 円
翌年度への繰越額
3 億円

事業の成果は？　今後は？　暮らしは？

決算審査特別委員会では、一般会計と４つの特別会計及び下水道事業会計の決算書類審査を４日間実施し、成果や課題の確認、事業の改善や要望などの質疑を行いました。（質疑 1,029 件）

また、書類だけでは分からない事業の実施状況や成果を直接確認するために、現地調査を行いました。

小型動力ポンプ付積載車購入費　2,986 万 5 千円

Q 消防団車両の故障原因は

A 可搬ポンプの真空精度や真空ポンプの故障である。

Q 火災事案によっては小型のポンプ車では水圧が足りない等の課題もあるが、今後の方向性は

A 小型ポンプ車に統一する予定である。

あんしん歩行エリア交通安全対策事業費　693 万円

Q 令和７年度の実施箇所は

A 木更津第一小学校と清見台小学校の通学路や、清見台小学校と清見台幼稚園の間の道路である。

Q 通学路合同点検で指摘された箇所のうち、未施工の箇所はあるか

A 未施工の箇所はない。

自転車駐車場指定管理料　1,835 万 2,400 円

Q 令和８年度の空き状況は

A 木更津駅東口の年間登録利用者数は制限に達しているが、西口については空きがある状態である。

Q １日だけ利用したい場合の駐車場は開放しているのか。

A 開放している。

自殺対策事業費　44 万 2,902 円

Q 令和７年度に実施した具体的な取組は

A 令和７年 12 月に木更津市の精神科医を講師とした自殺対策についての講演会、令和８年１月に市職員研修と併せたゲートキーパー研修を行った。相談先の周知としてリーフレットを作成し、市内中学校や地域交流センター等への配布を行った。毎月市公式 SNS での発信も行っている。

生活保護事業費　29 億 8,199 万 2,468 円

Q ケースワーカー１人当たりの担当世帯数は

A １人当たり 93 世帯である。

Q 基準はケースワーカー１人当たり何世帯か

A １人当たり 80 世帯であるため、基準を上回っている状況である。

道路清掃事業費　4,087 万 3,129 円

Q 事業の目的は

A 近年の大雨による道路冠水被害を軽減するため、路肩部及び中央分離帯部を路面清掃車で走行し、堆積土砂を撤去することで路面排水を正常化するとともに、防草対策を目的として実施した。

Q 令和７年度の実績は

A 全体で約 25 ㎞の路面清掃を実施した。

決算審査特別委員会

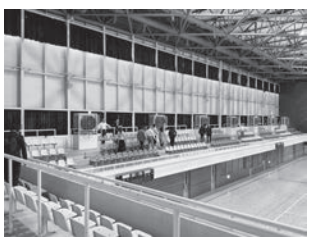
◎委員長　○副委員長

◎重城　正義	○齊藤　秀樹
吾津松太郎	重信　文彦
安藤　順子	堀切　俊一
石井　徳亮	竹内　伸江
永原　利浩	渡辺　厚子
田中　紀子	鶴岡　大治

現地視察の様子



八幡台幼稚園　建替え
（民間保育園等施設整備補助金）



市民体育館　冷暖房機器設置
（市民体育館空調設備設置事項）



消防本部トイレカー　購入
（トイレカー購入費）

令和８年９月定例会で審議された議案等を公開しています。

何が変わる？ 仕組みが変わる！ 暮らしが変わる！

議案第87号 木更津市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

被災届出証明書の発行手数料を無料とし、災害後の手続きを円滑化

【ここが変わります】
被災届出証明書　１通３００円 → 無料

Q. なぜ無料にするのか？

A. 県内で手数料を徴収しているのは木更津市だけであり、県内自治体との均衡を図るとともに、災害被災者への支援の充実及び行政サービスの向上を目的に無料とする。

Q. 「罹災証明書」と「被災届出証明書」の違いは？

A. 「罹災証明書」は、市が『住家の被害』を調査し、全壊・半壊などの被害程度を認定するものです。
「被災届出証明書」は、『住家に限らず物件等の被害』について写真等で被害を確認し、届出があったことを証明するもので、被害程度の判定は行いません。

Q. 被災届出証明書はどんな時に使う？

A. 保険請求や各種被災者支援制度などで、具体的な損傷割合の認定を必要としない場合に利用されます。

議案第89号 木更津市夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

夜間急病診療所の移転に伴い条例を改正

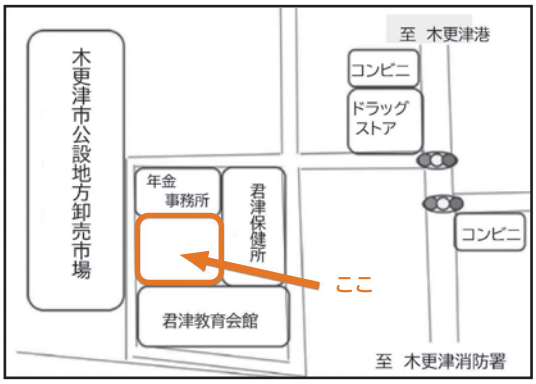
木更津市夜間急病診療所の移転に伴い、所在地を変更するため、条例の一部を改正するものです。

現住所⇩中央一丁目５番18号
新住所⇩新田三丁目４番30号

診療所は、令和９年４月１日からの運用開始を予定しています。

夜間における急な発熱や体調不良などの際に、市民が安心して受診できる医療体制の確保につながることが期待されます。

位置図



議案第94号 木更津市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について

無許可で再生土や残土の埋立て事業を行う事案が発生しているため、市残土条例の規制範囲を見直しと許可条件の変更

【主な改正内容】
①条例の題名改正
②定義の改正（下図）
③周辺住民に対する説明責任の明確化
④埋立て事業に対する適用除外規定を定める
⑤特定事業に係る土地所有者等への同意と周辺住民の承諾が必要な事を明確化
⑥暴力団の排除と５００㎡超の事業の場合の再生土の埋立て禁止を明確化
⑦全ての届け出及び許可案件について標識設置を義務化
⑧特定事業の廃止及び完了報告を届出につ いても報告するよう改正
⑨罰則規定を追加
⑩必要な新規定を追加

特定事業区域の面積	現行		改正後	適用除外事業あり
3000㎡以上	・事前協議＋許可申請 ・看板掲出必要 ・地元説明必要	⇒	現行から改正なし	規則で定める
500㎡以上3000㎡未満	・許可申請 ・看板掲出必要 ・地元説明なし	⇒	・事前協議＋許可申請 ・看板掲出必要 ・地元説明必要	
	条件を満たせば ・小規模届出 ・看板掲出なし	⇒	条件(※1)を満たせば ・小規模届出 ・看板掲出必要	
500㎡未満	規制なし	⇒	・簡易な埋立て等届出(※2) ・看板掲出必要	

(※1)①埋立て等を行う面積が500㎡以上3000㎡未満であること
②埋立て等に使用する土砂等の種類が採石法、砂利採取法及び千葉県土砂採取条例に基づき許認可等がされた採取場から採取された土砂であること
③埋立て等の最大盛土高が1メートル未満であること
(※2)規則で定める事業については、届け出の義務なし。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

発議案・要望書の提出

発議案第６号　基地対策関係施策に関する要望書について

基地対策関係施策に関する要望書について、９月定例会最終日の９月２５日に発議案を審議し、可決されたため、９月２９日に防衛大臣他、関係機関へ提出しました。

要望事項

1. 議会に対して、情報提供を直接、適切かつ速やかに行うこと
2. オスプレイに関する覚書等の遵守及び、全ての航空機の運用に際し安全対策を徹底すること
3. 基地周辺対策経費を確保すること
4. 基地周辺地域における生活環境の維持向上及び産業振興・地域交流への寄与に努めること
5. 大規模災害時の連携強化に努めること



北関東防衛局長へ要望書を提出

発議案第６号を
ご覧ください。

陳　情

陳情第７号　自治のまち木更津市自治会等への加入及び参加の促進に関する条例の制定に関する陳情書

近年、自治会への加入者の減少により、地域活動に支障が生じています。自治会活動は地域の良好な社会環境維持のために不可欠であり、住民の意識づけのためにも条例制定が必要です。加入促進のための条例制定により地域住民が自治会活動の重要性を明確に認識し、積極的に加入・参画するよう条例の制定を求めるものです。

陳情者　木更津市区長会連合会　会長　青木　健　　さん

教育民生常任委員会協議会
陳情者の趣旨説明、質疑

→ 教育民生常任委員会
執行部の参考意見を聞いて審査

→ 趣旨採択
趣旨採択の動議

→ 本会議で委員会の結果報告後、審議

→ 趣旨採択

熊本地震への災害義援金

令和８年７月28日に発生した熊本地震により被害を受けた被災地の復旧・復興支援のため、８月17日に、議員会から熊本県へ10万円の義援金を送りました。

委員会の行政視察

交通政策特別委員会　令和8年7月16日～17日

- 徳島県美馬市「デマンドバス（ふれあいバス・ラクバス）について」
  「部活動 MaaS について」
- 徳島県三好市「乗合タクシーについて」



交通政策特別委員会

議会改革特別委員会　令和8年7月21日～22日

- 静岡県湖西市、静岡県静岡市「議会の主権者教育の取組について」



議会改革特別委員会

議会運営委員会　令和8年7月27日～28日

- 山梨県北杜市「議員定数削減及び議員報酬の改正について」
- 長野県伊那市「開かれた議会づくり（市民との意見交換、主権者教育）について」
  「政策サイクルの確立について」



議会運営委員会

議員が聞いた！ 今とこれから

代表質問

紙面の都合上、質問議員が大項目1点を選び、質問と答弁を掲載しています。

9月定例会では、会派の代表5人が大項目19点、小項目110点にわたり、代表質問を行いました。

質問議員顔写真下QRコード

質問議員の録画中継

本会議の中継

羅針盤代表 吉田眞紀人（よしだまきと） 議員

人口減少を見据えたこれからの市政を問う



問 人口減少における市政運営の課題は

答 本市は今後、緩やかな人口減少局面に移行すると認識している。生産年齢人口の減少による市税収入や地域経済への影響、老齢人口の増加に伴う社会保障費の増加などが課題となる。

問 官民共創をどう進めるか

答 市民、企業、行政、教育機関などが地域課題の解決に取り組む「リビングラボ」を基本に（仮称）官民共創会議の制度設計を進め、令和9年度からの運用を目指す。

問 企業誘致の成果と今後は

答 平成26年以降、奨励金交付企業による税収は約34億円、雇用は約3000人で、うち市内在住者は約800人となった。今後は市内事業者との連携や地元雇用の拡大を進める。

問 交流人口をどう増やすか

答 デジタル「ふるさと住民登録制度」を活用し、市外の人との継続的なつながりを地域活性化に活かしていく。

問 スポーツを地域活性化にどう活かすのか

答 既存大会の充実や新たな大会の開催や誘致等により、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげ、地域への愛着を育む市民交流を深め、宿泊、飲食、観光への波及効果も生み出していく。



愛される木更津を目指して

自由民主クラブ代表 斉藤（さいとう）高根（たかね） 議員

房総国際芸術祭アート×ミックス2027について



問 全体のスケジュールと実施内容について伺う

答 令和9年3月6日から5月30日にかけて展開する事業である。開催期間中はアート作品展示に加えて、音楽ライブパフォーマンスや地域の「食」を活かした企画等も実施する。

問 アート作品の展示場所は

答 馬来田駅や富来田地域交流センター、旧富岡小学校跡地の「ETOWAKI-SARAZU」など、富来田地区を中心とした展開を予定している。

問 具体的な展示内容は

答 来月開催予定の房総国際芸術祭の企画発表会に向け、現在作家から提案されたプランを基に調整中である。

問 富来田地区だけの展開とせず、海側への設置を決定した理由を伺う

答 本市の海岸部には盤州干潟が広がり、潮干狩りをはじめ、豊かな自然を体感できるエリアである。この自然環境は本市ならではの特色であることから、展示を決定したものである。

問 海側の作品展示場所は

答 潮浜公園を予定している。

問 「ブルーベリー街道」沿いへ設置してほしい旨の要望があったが、現在の状況は

答 現地調査を行い、実行委員会や事業者と協議、調整を進めている。



一昨年の100年祭における海に置かれた作品

◇一般質問とは、議員が市の事務の状況や今後の方針などを問いただし、市民のための適切な市政運営が行われているかチェックするものです。９月、３月定例会では、議員個人による質問に加え、会派の代表質問も実施しています。

議員の情報

一般質問の全文（会議録）
９月定例会の会議録は
11 月下旬に公開予定です。

一般質問資料

公明党代表　佐藤（さとう）修一（しゅういち）　議員

大規模災害に備え、応援を受け入れる体制の強化を



問 災害時のボランティアを円滑に受け入れる体制と今後の改善は

答 社会福祉協議会を中心に災害ボランティアセンターを運営する。令和元年房総半島台風では延べ2627名が活動した。紙による受付や名簿管理等に課題があり、今後はデジタル化を進める。

問 ボランティアや応援職員、支援物資を円滑に受け入れるため、情報を一元管理・共有する仕組みを整える考えは

答 関係機関で情報共有することは重要であり、デジタル技術の活用を含め、仕組みを検討する。

問 国・県・他自治体からの応援を円滑に受け入れる準備と課題は

答 令和6年3月に「木更津市受援計画」を策定し、応援要請から受け入れ、配置、撤収までの手順を整理している。今後は運用検証と計画の見直しを進める。

問 笹子地区の日本財団災害対策拠点を、応援部隊や支援物資の受け入れに活用する考えは

答 災害時の活動拠点として活用の可能性を認識している。既存の物資集積所との役割分担を踏まえ、適切な活用方法を検討する。



活動する災害ボランティア

新栄会代表　松井（まつい）晃治（こうじ）　議員

足元から身体を目覚めさせる健康公園について



問 日常生活の中で自然に身体を動かし、足底からの感覚入力を通じ、姿勢や身体のバランスに気づく「体幹覚醒」を促す健康づくりの空間として、公園を整備してはどうか

答 公園を、市民が日常生活の中で、自然に身体を動かすことのできる空間として捉えることは、心身の健康づくりにつながる重要な役割を果たす。各公園の自然環境や地形、素材などの特色を活かし、楽しみながら身体機能の維持向上につながる環境づくりを推進する。

問 誰もが安全・安心して利用できることを基本に、「安全な不安定感」という視点から、公園の地形や素材の違いを活かし自然に身体を動かす多様な歩行環境を整えてはどうか

答 園路や散策路などの地形や素材を活かした歩行環境を整えるとともに、魅力的な拠点や施設を配置し、利用者が楽しみながら自然に歩きたくなる環境を整備することが重要と考える。

問 ウッドチップ園路を健康づくりに活用するため、利用を促す工夫をしてはどうか

答 吾妻公園のウッドチップ園路において、その効果や利用方法を説明する案内表示を設けるなど、「利用者が実際に歩いてみたくなるような工夫」を検討していく。



自然を活かした遊歩道（太田山公園）

共創・実りの会代表　**藤田（ふじた） 真澄（ますみ） 議員**

吾妻公園文化芸術施設の現状と今後について問う



問 管理運営について、これまで基本構想、基本計画、実施計画、基本設計、実施設計と進め、令和8年3月6日の総合教育会議にて、財団法人による指定管理にしたいと提案された直営や財団法人で管理運営している複合施設の先進事例をいつ、どの施設をどう調査したのか

答 令和7年10月より検討を始め、その過程において、他市の事例についても調査研究を行った。直営や民間事業者による指定管理の事例として、滝沢市交流拠点複合施設や新宮市文化複合施設、財団法人による指定管理の事例として、氷見市新文化交流施設、妙高市文化ホールを各施設の公式ホームページにおいて、施設の規模や機能構成、レイアウト等の基礎情報を収集したうえで、各市の担当者や運営者へヒアリングを行うなど、運営上の工夫や課題、利用状況について、確認してきた。

問 直営での管理運営できる複合施設をという設計の依頼はしたのか

答 本施設は、複数の機能が緩やかにつながり、交流を生み出すというコンセプトを掲げ、「吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会」における検討結果等を踏まえ、令和6年度に基本設計を取りまとめた。指摘の依頼はしていない。



吾妻公園文化芸術施設　バナー

木更津市ホームページのトップページ（下部）からこちらのバナーをクリック。計画等の詳細がご覧いただけます。

議員が聞いた！今とこれから 一般質問

9月定例会では、個人12人が大項目29点、小項目140点にわたり、一般質問を行いました。

堀切（ほりきり） 俊一（しゅんいち） 議員

木更津市の中学生の保護者は年額約6万円を損する状況に



問 近隣他市は、令和8年度の公立中学校における給食費の保護者負担額を市の支援でなくしたり減らしている。なぜ木更津市だけができないのか

答 学校給食法で保護者負担が原則とされている。

問 その原則があるのにも関わらず、他市が保護者の負担をなくしたり減らしている理由をどう考えるか

答 子育て支援や物価高騰の影響を受けた子育て世帯の経済的負担軽減が目的と推察する。

問 木更津市も無償化に向けて進むべきではないか

答 国が支援を検討しているので動向を注視する。

令和8年度 近隣公立中学校の給食費

	保護者負担額（円）	市負担額（円）
木更津市	61,120	0
袖ケ浦市	51,150	17,250
君津市	0	60,140
富津市	0	61,992

竹内（たけうち） 伸江（のぶえ） 議員

千葉豪雨を教訓に生命を守る水害対策を



問 本市でも同様の豪雨が起こり得ることを踏まえ、小櫃川・矢那川の洪水や内水氾濫への備えをどう強化するのか。特に、市民が自分の住む地域の浸水リスクを知り、早期避難につなげるための対策を伺う

答 被害、避難、道路、住宅、行政対応、被害者支援などの検証を行い、今後の防災対策に反映させる。また、内水氾濫は想定区域外でも起こり得るため、内水氾濫の情報を追加したハザードマップを充実させる。ウェブ版は令和9年度初めまでに公開、冊子版は令和9年度以降の発行を予定している。



水害への備えを学ぶ「防災・減災出前講座」

神蔵（かみくら） 五月（さつき） 議員



率先して行政運営の効率化と経費削減の推進を

問 市が事務局となっている機関の資料をメール送付にする等、経費削減すべきでは

答 事務局となっている所管課に働きかけていく。

問 自治会のデジタル化を進めている事例の案内は

答 区長会連合会総会などの機会を捉え、きっかけとなる場を設けていく。

問 皆がデジタルツールに親しめるように取組を周知すべきでは

答 スマホ教室などを活用し、アプリや回覧板デジタル化の取組などを体感し、理解できるよう、周知を図る。



羽鳥野自治会公式 LINE アカウントより

安藤（あんどう） 順子（じゅんこ） 議員



空家にしない！住まいのバトンリレー

問 空家対策は、空家になってからの管理や除却だけでなく、まだ使える住宅を次の世代につなぐ「予防」が重要である。10月から始まる中古住宅取得支援補助金を、空家予防にどう活かしていくのか

答 中古住宅の流通促進は移住・定住の促進に加え、空家の発生抑制にもつながる重要な施策と位置づけている。今後、利用状況や効果を検証し、対象要件や加算制度も含め、より空家予防につながる制度の充実を検討していく。



同じ年収、違う未来。
木更津ならかないます！

永原（ながはら） 利浩（としひろ） 議員



自治会バスの導入について

問 移動困難者の解消のため、町内会の中で町内会員を対象とし、いわゆる「白ナンバー」の車両を使うことに問題があるか

答 国土交通省のガイドラインによれば町内会が主体となり、町内会員を、町内会費の中で賄うのであれば許認可は「不要」である。

問 例えば、ガイドラインに抵触しない方法で自治会バス等を運行させる時、利用する会員と利用しない会員の町内会費に差を設けることについては

答 それも国土交通省は「問題がない」とガイドラインの中で明記している。



皆が待っていた自治会バス。
やりましょうか

石井（いしい） 徳亮（のりあき） 議員



大規模な火災災害対応のために消防団にポンプ自動車配備を

問 山火事が想定される農村部の消防団には各分団に1台はポンプ自動車が必要と考える。更新車両は小型動力ポンプ積載車との事だが、消防団員の負担減・高効率消防活動・安全性を高める為に配備が必要と考えるがいかがか

答 現時点では検討していない。

問 消防ポンプ自動車は中型免許証が必要。免許証取得費を個人団員のみが負担する事となる。行政側補助がないのは配慮に欠けると思うがいかがか

答 車両更新には消防ポンプ自動車を配備しない方向であるため、免許取得補助制度の導入は現時点で検討していない。


消防ポンプ自動車

大野 俊幸 議員



学校施設の老朽化対策について

問 学校施設の老朽化対策は児童生徒の教育環境を守る重要な施策であるが、今後の対応は

答 令和3年に策定した「木更津市学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化対策の推進を図っている。その一方で、老朽化の状況に機動的に対応するため、一定期間を経過した部位に対して行う大規模改修工事の計画策定に向けて検討中である。

問 「大規模改修工事」とは

答 外壁表面材の剥落や雨水の侵入を未然に防止するなど、予防保全に特化した大規模な改修工事であり、優先的に実施する。



齊藤 秀樹 議員



金田地域交流センターについて

問 駐車場が狭すぎて芝生や土の上に駐車しており、また、砂利道に大きな穴が空いて転倒の恐れがある。現在は職員が土を入れ修繕しているが、すべて舗装した駐車場にすべきと考える。市の見解を伺う

答 芝生や砂利道部分の舗装について予算や補助金事務手続き等の課題を整理するため、現在、関係部署と協議を進めており、その協議が整い次第、対応する。

問 避難所としての収容人数は

答 1264人である。



金田地域交流センター

田中 紀子 議員



蛍光灯の製造禁止に伴い木更津市の蛍光灯の廃棄方法を問う

問 家庭でLEDに取り替え、廃棄物となった蛍光管は、環境省の定めでは

答 蛍光管は、微量の水銀を使用しており、水銀使用廃製品は、他のごみと分別して回収し、適正処理すること。

問 家庭で蛍光灯を廃棄するには

答 専門的に水銀使用製品廃棄物処理する事業者への業務の委託を検討。

問 クリーンセンターでも受け入れている事業系ごみの蛍光灯などは

答 法令に基づく適正な処理ルートにより処理されるべき。一定の周知期間を設けて、今後、速やかに受入終了の方向で検討。

	木更津市のごみ収集の課題
家庭ごみ	蛍光管には微量の水銀が含まれているので、水銀の適正回収や環境負荷の低減の観点からより適切な処理体制への見直しが課題
事業系ごみ	事業活動に伴って排出される蛍光管は、「水銀使用製品産業廃棄物」として、法令に基づく適正な処理ルートにより処理されるべきもので、処理体制の見直しを図ることが課題

環境省の分別回収ガイドラインによると

渡辺 厚子 議員



倒木やブロック塀倒壊等による危険対策の推進を

問 市が管理する一定年数を経過している樹木については、樹木医等の専門家の点検も必要ではないか

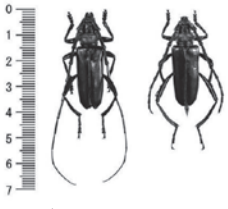
答 樹木医等の専門家による点検や助言も、状態に応じ検討する必要もある。

問 特定外来生物のクビアカツヤカミキリについて、樹木を管理する所管部署への情報共有はしているか

答 7月に、樹木を管理する部署を含む施設所管課に情報提供を行った。

問 危険ブロック塀等安全対策事業では、撤去工事費支払い時に補助対象者の負担を軽減する「代理受領制度」の周知が必要では

答 今後、案内チラシにも記載する。



クビアカツヤカミキリ

近藤（こんどう） 忍（しのぶ） 議員



木更津空港構想とはどのような内容で、何を目指しているのか

問 渡辺市長マニフェストに掲載された「木更津空港構想」は何年頃の本格運用を考えているのか

答 可能性を検証している段階で関係機関との調整が未確定で期間は示せないが軍民共用の岩国飛行場は協議開始から開港まで約10年を要している。

問 整備には多くの事業費が必要である。市の負担は避けるべきでは

答 財政負担を抑制するため民間活力の活用と国の関与が不可欠であり、市は調整や理解醸成などの役割を担う。

問 理解を得るため早めに住民説明会を開くべきでは

答 今後の状況に応じて対応する。



木更津飛行場［2024/1/18 撮影］

荻野（おぎの） 茜（あかね） 議員



木更津市こども計画について

問 こども計画の概要は

答 こども・若者・子育てをしている保護者や子育て支援に関わる方を対象として、136の事業を展開している。

問 どのような目的で意見聴取するのか

答 こども・若者・子育て当事者の声を施策に反映させるため、アンケートやワークショップ等を通じて意見聴取を行った。

問 こどもたちへのフィードバックは

答 計画書本体への掲載や市ホームページを通じてお伝えしている。今後は学校との連携による周知やSNSを活用した情報発信を検討していく。



木更津市こども計画

賛否のわかれた議案等をお知らせします

他　29件の議案は、原案のとおり全会一致で可決しました。

番号	件名	議決結果	荻野　茜	吉田眞紀人	吾津松太郎	松井晃治	藤田真澄	重信文彦	安藤順子	齊藤秀樹	佐藤修一	堀切俊一	神蔵五月	石井徳亮	竹内伸江	重城正義	座親政彦	永原利浩	渡辺厚子	田中紀子	鶴岡大治	近藤　忍	大野俊幸	斉藤高根	三上和俊	草刈慎祐
議案第74号	令和８年度木更津市一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	－
議案第76号	令和８年度木更津市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第80号	令和７年度木更津市歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
陳情第７号	自治のまち木更津市自治会等への加入及び参加の促進に関する条例の制定に関する陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	－

※表の見方　　○：賛成　　●：反対　　－：議長のため採決に加わっていません　　欠：欠席

反対討論　議案第74号　文化芸術施設整備事業は、事業費約30億円と地方債も増額しており将来世代の負担が大きくなる。また、今後の建設に関わる動向も不明瞭であることから、一旦立ち止まるべきと考え、反対。

反対討論　陳情第７号　自治会の活動を否定するわけではない。自治会では、依然として紙の回覧板や対面での会議が主流であり、若年層にとっては非効率的で、参加意欲が低くなりかねない。木更津市には、すでに協働のまちづくり条例があること、条例制定で自治会加入率を上げるより、他にまだやれることがあると考え、反対。

次回12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
				11/26 本会議（開会）	27	28
29	30	12/1	2	3	4	5
		本会議（一般質問）				
6	7	8 総務常任委員会	9 教育民生常任委員会	10 建設経済常任委員会	11	12
13	14	15	16	17 本会議（議案審議）（閉会）	18	19

９月定例会の傍聴者は延べ87名でした。
12月定例会の特別委員会の開催日時は現在未定です。詳しくは、議会事務局（電話23-7185）へお問い合わせください。

●声の市議会だよりについて

視覚障がい者を対象に市議会だよりを録音したＣＤを貸し出しています。また、市議会ホームページからも「声の市議会だより」をお聞きいただけます。

●本会議のインターネット中継について

本会議の映像（生中継及び録画中継）をインターネットでもご覧いただけます。

URL：https://www.city.kisarazu.lg.jp/gyouseijoho/shigikai/eizouhaishin/8048.html

Topics ～木更津みち案内人協会を取材～

木更津の歴史を伝える案内人

希望に合わせてまちをご案内

木更津みち案内人協会は、アクアライン開通から１年半後の平成 11 年５月に誕生し、観光案内所の一室が案内人協会に貸与され、観光案内業務がスタート。神社仏閣、中の島大橋、太田山公園などを巡る３つの基本コースを中心に、まちの歴史や文化を紹介しています。滞在時間や希望に応じて内容を組み替え、木更津キャッツアイのロケ地なども案内。令和６年度には 334 件、2,310 人が利用しました。

学びを重ね、自分の言葉で伝える

案内人は、研修や会員同士の情報交換を通じて地域の歴史を学び、それぞれの言葉と個性を生かして分かりやすく伝えています。訪れた人の心に残るよう、人物の心情や当時の情景も交えながら案内しています。



八剱八幡神社を
案内するみち案内人



資料で説明をする
みち案内人

次の世代へつなぐために

会員の高齢化が進む中、活動や知識を次の世代へどう受け継ぐかが課題です。今後は、小中学生が夏休みの学習などを通して地域の歴史に触れる機会を増やしたいとのこと。「木更津を好きになり、家族や友人にも伝えてほしい」との思いを胸に、まちの魅力を発信し続けています。



背中にみち案内人の文字

【ご予約・お問い合わせ】
木更津みち案内人協会　代表　岸 敏子さん
0438-97-5907
木更津観光案内所　0438-22-7711

市議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしています

広報委員会は、市民目線に立って「読みやすい、親しみやすい」紙面づくりを目指しており、**スマートフォンからご意見・ご感想を送れるようにいたしました。**（右図参照）

なお、従来通り電話、FAX、メール、郵送でのご提出も受け付けております。

電　話）0438-23-7185　FAX）0438-22-4734
メール）gikai@city.kisarazu.lg.jp
住　所）〒292-8501
木更津市富士見 1-2-1 市議会事務局 宛

こちら編集会議

取材を通じ、普段何気なく見ている木更津の風景にも、多くの歴史や物語があることを改めて知りました。案内人の皆さんが伝える地域の魅力が、次の世代へ受け継がれていくことを願います。

木更津市議会広報委員会　◎委員長　○副委員長
◎佐藤　修一　○田中　紀子　吉田眞紀人
吾津松太郎　松井　晃治　藤田　真澄

スマートフォンでのご意見・ご感想の送付手順

①上記の QR コードをスマートフォンのカメラで読み取る。
▼
②画面に表示されたリンク先をタップ。
▼
③簡単な設問に回答。
（自由記述できる欄もあります）
▼
④「確認画面へ進む」をタップ。
▼
⑤記載内容を確認したら、「送信」をタップ。

※いただいたご意見等は、市議会だよりに掲載する場合があります。